

CASBEE[®]-不動産【集合住宅】評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-不動産【集合住宅】(2021年SDGs対応版) v1.2.2

建物概要					
建物名称	東神田テラスレジデンス	敷地面積	869 m ²	評価の段階	運用段階評価
建設地	東京都千代田区	建築面積	688 m ²	評価の実施日	2024年10月1日
用途地域	商業地域、防火地域	延床面積	7,072 m ²	作成者	福士 明子
建物用途	共同住宅	地上13F		不動産評価員番号	ふ-001189-27
竣工年月	2018年7月25日	RC造		確認日	2024年11月6日
直近の大規模改修実施年月	—	平均居住人員	246 人	確認者	福士 明子
		年間使用時間	8,760 時間/年	不動産評価員番号	ふ-001189-27

評価結果					
85.7 /100 (得点 / 満点)	合計		S ランク:★★★★★	≧	78
			A ランク:★★★★	≧	66
			B+ランク:★★★	≧	60
			B ランク:★★	≧	50
ポイントは小数点第1位までの表示とする					

1. エネルギー／温暖化ガス					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制	一次エネルギー(目標値)	204	MJ/m ² ・年
		根拠等 実績値より省エネ基準への適合、年間実績を把握、ベンチマーク比較実施、次年度省エネ目標設定			
15.0	20 / 15 / -	1.1 使用・排出原単位(計算値)	一次エネルギー(計画値)	205.9	MJ/m ² ・年
		根拠等 実績値より	二次エネルギー(*)	21.1	kWh/m ² ・年
			CO ₂ 排出量(*)	10.1	kg-CO ₂ /m ² ・年
5.0	5 / 5 / 20	1.2 使用・排出原単位(実績値)	一次エネルギー(実績値)	205.9	MJ/m ² ・年
		共用部の評価	二次エネルギー(*)	21.1	kWh/m ² ・年
		エネルギー消費量実績値一覧参照	CO ₂ 排出量(*)	10.1	kg-CO ₂ /m ² ・年
		二次エネルギー＝一次エネルギー/9.76			
4.0	- / 5 / 5	1.3 省エネルギー(仕様評価)	導入された対策項目数	4.0	項目
		根拠等 専有部の省エネ対策			
3.0	5	1.4 自然エネルギー	利用率		%
		根拠等 導入していない			
27.0	30	合計			

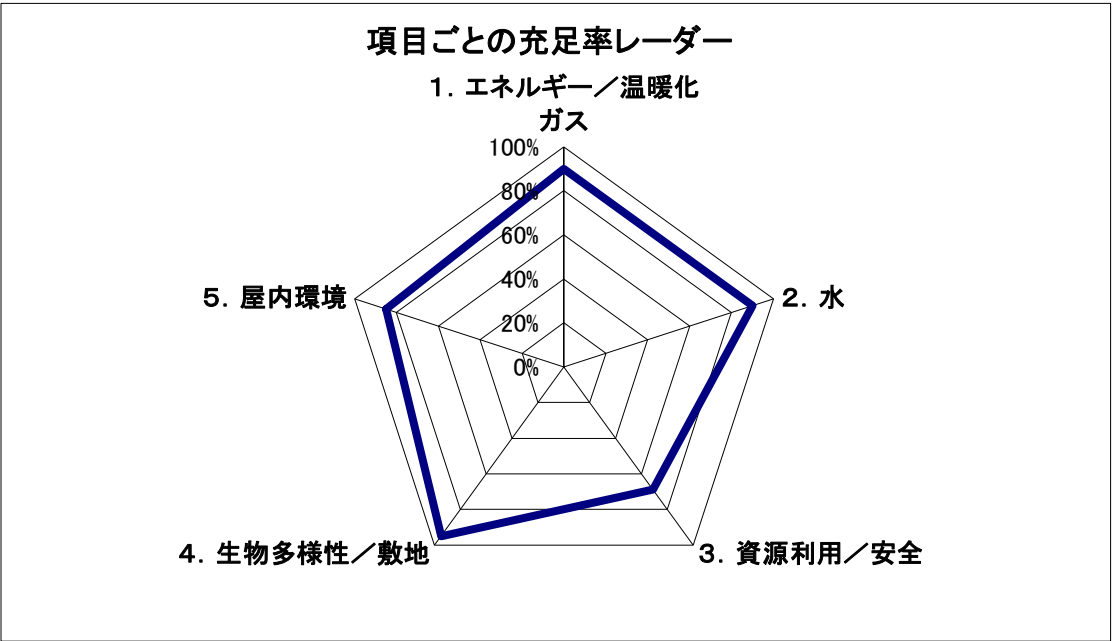
2. 水					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		目標設定、モニタリング、運用管理体制	水使用量(目標値)		L/m ² ・年
	0	根拠等 水消費実績を把握、次年度省エネ目標設定			
4.0	5	2.1 水使用量(計算値)	水使用量(計画値)		L/m ² ・年
		評価しない			
5.0	5	2.2 水使用量(仕様評価)	水使用量(実績値)	28.0	L/m ² ・年
		根拠等 ①、②、③			
9.0	10	2.3 水使用量(実績値)			
		根拠等 水使用量実績値一覧参照			
		合計			

3. 資源利用／安全					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		新耐震基準への適合またはIs値、If値	なし		
3.0	5	3.1 高耐震・免震等	3.1.1と3.1.2の点数の高い方で評価		
3.0		3.1.1 耐震性			
		根拠等 建築基準法に定められた耐震性を有する			
3.0		3.1.2 免震・制震・制振性能			
		根拠等 導入していない			
3.7	5	3.2 再生材利用率・廃棄物処理負荷抑制	3.2.1と3.2.2の平均で評価する		
		3.2.1 再生材利用率	①と②の平均で評価する		
3.0		① 躯体材料	使用していない		
4.0		② 非構造材料	リサイクル材を使用している	2	品目
4.0		3.2.2 廃棄物処理負荷抑制			
	加点 1	根拠等 ①、②、③、⑥	取組数	4	ポイント
3.0	5	3.3 躯体材料の耐用年数	経過年数＋今後の想定耐用年数		年
		根拠等 建築基準法に定める対策が講じられている	3.4.1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の平均		
4.0	5	3.4 主要設備機器の更新必要間隔／設備の自給率向上／維持管理／バリアフリー			
4.0		3.4.1 主要設備機器の更新必要間隔	更新年数の平均値	22	年
		根拠等 計算式参照			
3.0		3.4.2 設備(電力等)の自給率向上	自給率向上の取組数		項目
		根拠等 特になし			
5.0		3.4.3 維持管理	維持管理に関する取組数	13	ポイント
		根拠等 ①～⑥			
4.0		3.4.4 バリアフリー対策			
		根拠等 バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている			
13.7	20	合計			

4. 生物多様性／敷地					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		特定外来生物・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用しない	なし		
		根拠等 特定・未判定外来生物、生態系被害防止外来種を使用していない			
10.0	10	4.1 生物多様性の向上	②取組表による場合のポイント数	3	ポイント
		根拠等 ①、③、⑤			
0.0	0	4.2 土壤環境品質・ブラウンフィールド再生			
		根拠等 土壤汚染対策法に基づく汚染除去等の区域指定にない			
5.0	5	4.3 公共交通機関の接近性			
5.0		4.3.1 公共交通機関の接近性	鉄道駅またはバス停からの距離	8	分圏内
		根拠等 岩本町駅 徒歩5分			
		4.3.2 交通結節点への接近性、敷地周辺への配慮			
4.0	5	4.4 自然災害リスク対策	リスクの合計数	2	種類
		根拠等 リスクの合計数は2種で、有効な防災対策を実施している			
19.0	20	合計			

5. 屋内環境					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		建築物衛生管理基準の準拠または質問票への適合	なし		
		根拠等 質問票への適合			
3.0	3	5.1 自然利用			
3.0		5.1.1 星光利用	5.1.1.1の点数×2/3＋5.1.1.2の点数×1/3		
		5.1.1.1 自然採光			
		根拠等 計算式参照	開口率	47.1	%
3.0		5.1.1.2 星光利用設備			
		根拠等 星光利用設備がある	星光利用設備	1	種類
2.0	3	5.1.2 通風・排熱			
		根拠等 居室に2か所開けられるが窓がある			
3.0	3	5.1.3 眺望・ゆとり	天井高	2.4	m以上
		根拠等 天井高2.4m以上、かつサッシ高2.2m以上となっている			
2.0	2	5.2 健康・快適			
		5.2.1 暑さ・寒さ			
		根拠等 外壁断熱、日射遮断装置、複層ガラスを設置している			
2.0	2	5.2.2 主要な居室の冷房・暖房			
		根拠等 居室に冷暖房装置を実装している			
2.0	2	5.2.3 化学汚染物質対策・適切な換気			
		根拠等 化学汚染物質を抑える建材を使用している			
1.0	2	5.2.4 騒音・遮音			
		根拠等 レベル2を満たさない			
2.0	3	5.3 防犯対策			
		根拠等 エントランスにセキュリティシステムの設置、かつITVカメラ			
17.0	20	合計			

東神田テラスレジデンス



環境性能の特徴

- ・エネルギー使用の計算値/実績値及び仕様評価、水使用の実績値及び仕様評価が高得点であり省エネルギー性能が高い。
- ・新耐震基準を満たしている。
- ・敷地内の生物多様性向上に取り組んでいる。
- ・自然災害リスクへの対策が講じられている。
- ・徒歩5分圏内に交通公共機関(鉄道駅)があり利便性が高い。
- ・維持管理が適切に行われており、屋内環境も良好である。

評価機関、評価員記名欄

認証機関記名欄

東神田テラスレジデンス